

⑤長崎県立佐世保特別支援学校の活動

「校産校消」への取組

本校は「知的障害教育部門」と「肢体不自由教育部門」が設置されています。各部門には小学部から高等部まであり、「健康・協力・自立」の校訓のもと、「健康でたくましく生きぬく児童生徒」の育成をめざし、日々の学習に取り組んでいます。

本校では、児童生徒の食に対する関心を高めるために、地域の特産物や地場産物だけではなく、中学部や高等部の生徒が授業のなかで栽培した農作物を給食に利用しています。ただ利用するだけではなく、例えば、小学部の児童にグリーンピースのサヤから豆を取り出す体験をさせることで、食材に対する興味・関心や、栽培や給食作りにかかわった人たちへの感謝の気持ちを高めるような指導の工夫も行っています。もちろん後輩たちの感謝の気持ちを耳にした中学部や高等部の生徒たちにとっては、さらなる栽培意欲の向上にもつながっているようです。

このようにして、校内で生産から消費までを身近に学習することができる「校産校消」を進めることで、本校の学校給食はより「生きた教材」としての力を発揮しています。



丹精込めてつくりました！
(中学部・高等部)



グリーンピースってこうなっているんだ。
中学部・高等部のみなさんありがとう！
(小学部)



三色どんぶり



小学部のみなさんありがとう！
(調理員)



毎日おいしい給食をありがとうございます！
(児童生徒一同)